



盛岡市議会議長

村田 芳三様

北飯岡3丁目に建設予定のパチンコ店について(要望書)

平成25年3月14日

盛岡市立飯岡小学校

河南子供会

会長 小森 茂



住所

電話



北飯岡3丁目に建設予定のパチンコ店について

平成25年2月13日に北飯岡3丁目13番地、近隣商業地域内(西バイパス東側、南川と歩行者専用道の間)にパチンコ店(仮)ジャムフレンド盛岡 新築工事の標識看板が設置されました。

計画では店舗及び3層4段立体駐車場を近隣商業地域内に、6m幅道路(歩道なし)を挟んで店舗・立体駐車場東側の第二種中高層住居専用地域内に、2面で200台以上駐車可能な平面駐車場と景品交換所を設置予定です。遊技台設置台数は約700台、総駐車台数も約700台分となる県内でもトップ規模の大型パチンコ店を建設する予定です。

- 参考までにこの場所から西バイパス沿い北側に予定されている24時間営業の大型スーパー(単体スーパーとしては県内一の規模)の駐車台数300台程度、さらに北側の大型ホームセンターを核とする複合施設でも駐車台数800台程度の計画であったと思います。

店舗西側は西バイパスに面し、南側は南川、北側は歩行者専用道路、店舗東側と平面駐車場の間は6m幅道路(歩道なし)で住宅地内にある平面駐車場2面に接する道路も同じ6m幅道路(歩道なし)の狭い道路となります。

この6m幅道路は住宅地の生活道路であり、小学生・中学生・高校生の通学路として利用されており、駐車場予定地から20mも離れてない場所に地区のゴミ集積所、50mの場所には児童公園もあります。大型パチンコ店が予定通り完成した場合には相当量の交通量増加が見込まれ、生活道路・通学路・児童公園利用者の安全に影響がでる事は容易に想像できます。また計画案の配置図をみると、西バイパスからストレートに住宅地側に車が通り抜け出来る構造であり、この住宅地内の生活道路の設計思想とは異なる交通の流れになるのではないかと考えられます。

UR都市機構ゆいとぴあ盛南のホームページにある地区計画では住宅地区においては……

住宅地の落ち着いた環境を保護するため、危険物を扱う施設や車の出入りが多くなるような施設の立地を制限しています。

と唱っております。

盛岡市・都市機構から一般向けにわかりやすく編集された「ゆいとぴあ盛南 より良いまちづくりに向けて 盛岡南新都市・地区計画の手引き」の中では、5ページにまちづくりの目標が示されています。

内容は

[沿道商業業務地区1(近隣商業地域)]

- 西バイパス沿道の地区特性にあわせ、車対応型の商業業務施設や地区住民に対する生活支援サービス施設の立地をはかるとともに、広域幹線沿線にふさわしいゆとりある良好な沿道景観をめざします。

[住宅地区2(第二種中高層住居専用地域)]

- 住宅を主体とした、ゆとりとるおいのある落ち着いた住環境をめざします。

一般的な市民は難しく書かれた法規・条例よりも、わかりやすく書かれたものを自分たち

の都合のいいように解釈すると思います。このホームページ・手引き書を見て、素晴らしいまちづくりの盛南地区となるのを信じ、一生をこの地でと居を構えた家庭も少なくない筈です。

パチンコ店の予定地は近隣商業地域であり法規・条例でパチンコ店の規制はかかっておりませんが、この場所に出店することにより、ホームページや手引きの中で唱っている隣接する住宅地の地区計画は守られるのか疑問に思います。

また現在このパチンコ店とは別にヤマダ電機そばにもパチンコ店が計画されており、本宮地区ではすでに完成間近です。

将来、西バイパス沿道は南インターチェンジ口と直結になり、盛岡の、岩手の新しい玄関口となることでしょう。

遠方からの来訪者が盛岡にきて玄関口がパチンコ街になっていたらどう盛岡の印象を感じるのでしょうか？

ゆいとぴあ盛南はそのような計画だったのでしょか？

現状の岩手の法規制・条例では規制が緩く、「教育施設も病院も近くにないこの場所では許可しない訳にはいかない」というのが行政、公安委員会の見解のようです。

ジャムフレンドのホームページでは「地域に愛されなければジャムフレンドクラブではない」と唱ってます。はたしてこのような計画案で周辺住民に愛されていけるのでしょうか？

私たち子供会では地域の生活に大きな影響があると考え、また盛南地区にも将来的にいい影響を与えないと思い、周辺自治会・PTA・北飯岡3丁目の住民と団結し、この地区へのパチンコ店の出店に断固反対していく所存であります。

いまいちど「盛岡南新都市まちづくり憲章」の持つ意味を考え、盛岡・岩手の発展を担う新都市づくりのために、行政サイドからも行動を起こしていただきたいと切に願うものであります。